

## 5 施設及び設備の概要

## (1) 水再生プラザ等施設能力の現状と計画

令和4年3月31日現在

区分 施設名	処 理 面 積 (ha)						総 人 口 (千人)	処 理 人 口 (千人)	水 洗 化 人 口 (千人)
	計 画			現 在					
	合 流	分 流	全 体	合 流	分 流	全 体			
創成川	2,069	-	(汚)2,069 (雨)2,069	2,067	-	(汚)2,067 (雨)2,067	245.3	245.3 (100.0%)	245.3 (100.0%)
拓北	-	(汚)470 (雨)451	(汚)470 (雨)451	-	(汚)455 (雨)438	(汚)455 (雨)438	20.1	20.1 (100.0%)	20.1 (100.0%)
伏古川	1,117	-	(汚)1,117 (雨)1,117	1,108	-	(汚)1,108 (雨)1,108	88.3	88.3 (100.0%)	88.2 (99.9%)
茨戸	2,017	(汚)134 -	(汚)2,151 (雨)2,017	1,977	(汚)114 -	(汚)2,091 (雨)1,977	132.4	131.7 (99.5%)	131.3 (99.7%)
豊平川	2,778	(汚)2,122 (雨)2,088	(汚)4,900 (雨)4,866	2,773	(汚)2,060 (雨)2,022	(汚)4,833 (雨)4,795	427.5	426.6 (99.8%)	426.3 (99.9%)
厚別	-	(汚)4,653 (雨)4,612	(汚)4,653 (雨)4,612	-	(汚)4,480 (雨)4,419	(汚)4,480 (雨)4,419	285.0	284.7 (99.9%)	284.6 (100.0%)
定山溪	-	(汚)132 (雨)117	(汚)132 (雨)117	-	(汚)96 (雨)56	(汚)96 (雨)56	1.1	1.1 (100.0%)	1.1 (100.0%)
東部	-	(汚)779 (雨)751	(汚)779 (雨)751	-	(汚)689 (雨)672	(汚)689 (雨)672	55.9	55.8 (99.8%)	55.7 (99.8%)
新川	2,911	(汚)879 (雨)860	(汚)3,790 (雨)3,771	2,905	(汚)831 (雨)808	(汚)3,736 (雨)3,713	349.5	348.9 (99.8%)	348.7 (99.9%)
手稲	4,800	(汚)589 (雨)585	(汚)5,389 (雨)5,385	4,656	(汚)585 (雨)581	(汚)5,241 (雨)5,237	368.2	367.8 (99.9%)	367.6 (99.9%)
西部 スラッジ センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東部 スラッジ センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	15,692 [62%]	(汚)9,758 (雨)9,464 [38%]	(汚)25,450 (雨)25,156 [100%]	15,486 [62%]	(汚)9,310 (雨)8,996 [38%]	(汚)24,796 (雨)24,482 [100%]	1,973.3	1,970.3 (99.8%)	1,968.9 (99.9%)

- 注：1 茨戸水再生プラザは、札幌市分のみ。  
2 計画は現状の東部処理区切替部分のみ反映  
3 「処理人口」欄の( )は、総人口普及率。処理人口/総人口  
4 「水洗化人口」欄の( )は、水洗化率。水洗化人口/処理人口  
5 「合計」欄の[ ]は、汚水ベースの分合流比

令和4年3月31日現在

施設名	処理能力 ( $\text{km}^3/\text{日}$ )		排除方式	処理方式	脱水能力 ( $\text{m}^3/\text{時}$ )				焼却能力 ( $\text{t}/\text{日}$ )	脱方式	放流先 環境基準 類型	敷地面積 ( $\text{m}^2$ )	運転開始 年 月
	計画	現在			計画	現在	計画	現在					
	計画	現在	計画	現在	計画	現在	計画	現在					
創成川	144.0	144.0	合流	標準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				-	創成川	70,854 (14,815)	第1: 昭和42年4月 第2: 昭和56年4月 平成3年11月	
[高度処理]	[144.0]	[120.0]		急速砂ろ過法									
拓北	16.0	16.0	分流	標準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				-	石狩川	32,122	昭和59年9月	
										B			
伏古川	49.0	61.0	合流	ステップ 流入式硝化 脱窒法	発生汚泥を圧送				-	伏籠川	30,682	昭和43年4月	
[高度処理]	[49.0]	[49.0]										平成15年3月	
茨戸 (札幌+石狩)	85.2 (95.0)	100.0 (125.0)	合流	標準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				-	茨戸川	169,952	昭和52年8月	
[高度処理] (札幌+石狩)	[85.2] (95.0)	-		(一部 分流)						ステップ流入式 硝化脱窒法		令和5年 供用開始予定	
豊平川	186.0	186.0	合流 (一部 分流)	標準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				-	望月寒川	93,873 (6,810)	第1: 昭和45年10月 第2: 昭和55年9月	
										B			
厚別	154.8	154.8	分流	標準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				-	野津幌川	92,479 (汚水調整 池を含む)	昭和48年10月	
										B			
定山溪	14.0	14.0	分流	標準 活性汚泥法	濃縮汚泥を搬出				-	豊平川	13,181	昭和45年10月	
										A			
東部	40.0	40.0	分流	ステップ 流入式硝化 脱窒法	発生汚泥を圧送				-	豊平川	158,711	平成17年4月	
[高度処理]	[40.0]	[40.0]											B
新川	238.0	238.0	合流 (一部 分流)	標準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				-	琴似川	100,289	第1: 昭和46年9月 第2: 昭和56年4月	
										D			
手稲	220.0	220.0	合流 (一部 分流)	標準 活性汚泥法	発生汚泥を圧送				-	新川	103,272	昭和53年6月	
										D			
西部 スラッジ センター	-	-	-	-	300.0	300.0	550.0	550.0	遠心 脱水 圧入式 スクュー プレス	-	86,913	脱水: 平成12年3月 (定山溪:平成16年3月) 焼却: 昭和58年4月	
					定山溪脱水 4.80	2.56							
東部 スラッジ センター	-	-	-	-	150.0	150.0	300.0	300.0	遠心 脱水	-	40,196	脱水: 平成19年9月 焼却: 平成19年9月	
合計	1,147.0 (1,156.8)	1,173.8 (1,198.8)	-	-	454.8	452.6	850.0	850.0	-	-	992,524	-	

- 注: 1 創成川水再生プラザの高度処理施設は、重力式上向流固定床方式による急速砂ろ過法であり、処理能力の内数である。  
 2 脱水能力は、給泥量表示である。  
 3 焼却能力は、脱水ケーキ量表示である。  
 4 敷地面積は、地積測量図の地積。( )内数値は占用部分で内数  
 5 伏古川水再生プラザの高度処理は2次処理を利用したもので、処理能力の内数である。  
 6 茨戸水再生プラザの処理能力は札幌市分のみである。なお( )内数値は施設全体能力で、石狩市の認可分を含む。

(2) 水再生プラザ設備の現況

沈砂池設備

令和4年3月31日現在

区分 施設名	沈 池										
	用途	池数	容量 (m <sup>3</sup> /池)	型式	除 塵 設 備					除 砂 設 備	
					方 式	台数	付 属 設 備	方 式	台数	付 属 設 備	
創 成 川	第2	汚水	1 2	137 76	矩形平行流 曝気式	細目スクリーン	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	機械掻揚	6	バケットコンベヤ トラフコンベヤ バケットエレベータ
		雨水	2	137	矩形 平行流	細目 "	2		"	4	バケットエレベータ
	雨P 融雪管	雨水	3	269	"	細目 "	3	自動バースクリーン ベルトコンベヤ	"	6	バケットコンベヤ トラフコンベヤ
		融雪	1	-	-	細目 "	1	自動バースクリーン	混気ジェット ポンプ	1	空気混入式 ジェットポンプ
拓北	汚水	2	24.6	曝気式	細目 "	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	揚砂ポンプ	2	スクリュウ式掻寄機 サンドポンプ スクリュウ式分離機 バケットエレベータ	
伏古川	汚水	低段 2	33	曝気式	細目 "	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ	機械掻揚	2		
	雨水	低段 2	51	矩形 平行流	細目 "	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ ベルトコンベヤ バケットエレベータ	揚砂ポンプ	2	スクリュウ式分離機 トラフコンベヤ バケットエレベータ	
	汚水	高段 2	112	矩形 平行流	細目 "	2		"	2	バケットエレベータ	
	融雪	1	-	-	粗目 "	1	自動バースクリーン	混気ジェット ポンプ	1	空気混入式 ジェットポンプ	
茨戸	汚水	5	115.5	曝気式	細目 "	5	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	機械掻揚	5	トラフコンベヤ バケットエレベータ	
	雨水	3	138	矩形 平行流	細目 "	3		"	3		
豊 平 川	第1	汚水	高段2 低段1	135.7	曝気式 "	細目 "	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ	機械掻揚	2	バケットコンベヤ トラフコンベヤ バケットエレベータ
		汚水	低低段 2	79.2	矩形 平行流	細目 "	2	自動バースクリーン ベルトコンベヤ バケットエレベータ	"	4	バケットエレベータ
	第2	雨水	高段4 低段2	133.9	"	粗目 "	4		"	4	ベルトコンベヤ グリッドコレクタ
		汚水	2	85.2	"	細目 "	2	自動バースクリーン ベルトコンベヤ バケットエレベータ	"	4	トラフコンベヤ バケットエレベータ
厚別	汚水	4	132	曝気式	細目 "	4	自動バースクリーン ベルトコンベヤ Vバケットコンベヤ スクリュウコンベヤ	機械掻揚	4	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ スクリュウコンベヤ	
										(粗目スクリーン人力掻揚) 自動バースクリーン	"
定山溪	汚水	2	8.7	矩形 平行流	粗目 " 細目 "	2 2	流水トラフ	"	2	ベルトコンベヤ 沈砂搬出機 スキップエレベータ 流水トラフ	
東部	汚水	2	64.2	矩形 平行流	細目 "	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ Vバケットエレベータ	"	2	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ Vバケットエレベータ	
新 川	第1	汚水	4	151.2	曝気式	粗目 " 細目 "	4 4	自動バースクリーン	"	4	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ
		雨水	2	105.6	矩形 平行流	粗目 " 細目 "	4 4	ベルトコンベヤ	混気ジェット ポンプ	2	ベルトコンベヤ グリッドコレクタ
	第2	汚水	3	232	曝気式 旋回式	細目 "	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットコンベヤ	機械掻揚	3	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ
		汚水	3	94	矩形 平行流	細目 "	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットコンベヤ	"	3	Vバケットコンベヤ トラフコンベヤ
手稲	汚水	2	400	矩形 平行流	細目 "	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ	混気ジェット ポンプ	2		

## 池槽施設

令和4年3月31日現在

区分	施設名		数量 (池、槽)	容量 (m <sup>3</sup> /池、槽)	水面積 (m <sup>2</sup> /池)	有効深 (m)	せき長 (m/池)	構造・形式	備考	
汚水調整池	厚別		4	4,000	—	6.5	—		冬期間は2池を融雪槽として使用	
	東部		1	2,460	—	2.0	—			
雨水滞水池	茨戸		6	3,267	544	6.0	141	平行流式長方形		
予備エアレーションタンク	茨戸		1	656	—	4.0	—	スパーージャ方式	従来の4池は汚泥圧送設備に変更	
	厚別		1	1,722	—	4.5	—	ディスクディフューザ方式	従来の1池は汚泥圧送設備に変更	
最	創成川	第1	3	1,050	420	2.5	58	平行流式長方形		
		第2	2	3,350	957	3.5	194	〃		
初	拓北		2	622	194	3.2	72	〃		
	伏古川		4	763	332	2.2	65	放射流式正方形		
			2	1,404	360	3.9	115	平行流式長方形		
	茨戸		5	2,398	624	3.7	136	〃		
沈	豊平川	第1	6	1,008	422	2.4	95	〃		
		第2	2	2,849	730	3.9	278	〃		
			3	2,356	620	3.8	208	〃		
殿	厚別		12	761	324	2.5	66	放射流式正方形		
	定山溪		—	—	—	—	—	—		
池	東部		2	1,500	500	3.0	83	平行流式長方形		
	新川	第1	4	2,000	800	2.5	182	平行流式長方形		
		第2	3	2,253	593	3.8	172	〃		
	手稲		10	1,800	450	4.0	206	〃		
	反 応 タ ン ク	創成川	第1	3	6,768	—	4.7	—	微細気泡方式	
第2			2	7,610	—	6.0	—	散気板方式		
拓北		2	2,740	—	6.0	—	〃			
伏古川		4	4,560	—	4.0	—	微細気泡方式			
茨戸		1	6,739	—	5.2	—	散気板方式	2系はR4.3月に更新		
		4	6,290	—	5.2	—	微細気泡方式			
豊平川		第1	3	10,200	—	4.5	—	〃		
		第2	3	7,678	—	6.0	—	微細気泡方式		
厚別		4	9,084	—	4.0	—	散気板、微細気泡方式			
定山溪				3	726	—	4.0	—	散気筒方式	
				1	870	—	4.0	—	散気板方式	
東部		2	9,000	—	5.8	—	微細気泡方式			
ク	新川	第1	4	9,900	—	4.5	—	微細気泡方式	1系はH30.3月に更新	
		第2	2	14,900	—	5.0	—	微細気泡方式		
	手稲		3	13,188	—	5.5	—	微細気泡方式		
2			13,104	—	5.2	—				

区分	施設名		数量 (池、槽)	容量 (m <sup>3</sup> /池、槽)	水面積 (m <sup>2</sup> /池)	有効深 (m)	せき長 (m/池)	構造・形式	備考	
最 終 沈 殿 池	創成川	第1	3	2,245	774	2.9	168	平行流式長方形		
				2	1,685	581	2.9	126	〃	
		第2	2	3,450	1,160	3.0	240	〃		
		拓北	2	1,166	388	3.0	80	〃		
		伏古川	4	1,600	483	3.3	132	〃		
		茨戸	5	3,318	1,037	3.2	216	〃		
	豊平川	第1	6	1,675	578	2.9	196	〃		
		第2	3	3,200	1,000	3.2	304	〃		
		厚別	8	2,002	626	3.2	164	〃		
	定山溪		6	297	106	2.8	34	〃		
			2	362	129	2.8	36	〃		
		東部	2	4,680	1,340	3.5	219	〃		
	新川	第1	8	1,710	570	3.0	108	〃		
第2		4	2,838	860	3.3	264	〃			
	手稲	10	3,105	900	3.45	222	〃			
ろ過池	創成川	高度処理	10	ろ過面積：50 m <sup>2</sup> /池 ろ過速度：240 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日			重力式上向流 固定床型	支持砂利：0.9 m厚(径4~50 mm) 下砂：0.5 m厚(径2.1 mm) 上砂：1.0 m厚(径1.2 mm)		
接 触 タ ン ク	創成川	第1	1	900	—	2.5	—		12%次亜塩素酸ナトリウムを使用	
		第2	1	1,616	—	4.5	—			
		拓北	1	420	—	3.0	—		〃	
	伏古川		1	795	—	3.0	—		〃	
			1	730	—	4.0	—		〃	
		茨戸	1	2,673	—	4.0	—		〃	
	豊平川	第1	1	2,935	—	4.2	—		〃	
		第2	1	1,700	—	5.0	—		〃	
		厚別	1	1,896	—	4.2	—		〃	
	定山溪		1	180	—	1.8	—		〃	
			1	1,060	—	2.0	—		〃	
	新川	第1	1	1,664	—	4.0	—		〃	
		第2	1	4,425	—	6.0	—		〃	
手稲		1	5,391	—	3.3	—		〃		
		1	2,179	—	4.0	—		〃		

## 貯留管施設

区分	施設名	貯留量 (m <sup>3</sup> )	管径φ (mm)	延長 (m)	備考
雨水 貯留管	創成川	46,400	5,000	2,495	冬期間は融雪管として使用
	伏古川	32,000	4,200	2,210	〃
			3,000	690	
豊平川	24,000	4,250	1,900	浸水対策及び合流改善として使用	

## 汚水ポンプ・雨水ポンプ

令和4年3月31日現在

区分	施設名		型式	口径 (mm)	揚水量 (m <sup>3</sup> /分・台)	揚程 (m)	出力 (kW)	台数 (台)	種類	備考
汚水ポンプ	創成川 水再生 プラザ	第1	立軸斜流	800	73.0	16.7	280	2	M	
			1次立軸斜流	400	21.0	10.0	55	2	M	
			〃	700	63.0	10.0	155	2	M	
			〃	800	87.0	10.0	210	2	M	
		第2	2次立軸斜流	400	21.0	8.0	45	2	M	
			〃	700	63.0	7.5	115	1	M	
			〃	700	63.0	8.5	130	1	M	
			〃	800	87.0	8.6	180	2	M	
	拓北水再生プラザ		立軸渦巻斜流	250	6.4	19.0	37	3	M	
			〃	400	18.6	19.0	90	2	M	
	伏古川水再生プラザ		立軸渦巻	350	13.0	20.0	75	2	M	
			〃	600	48.0	20.0	250	2	M	
			脱着式水中ポンプ	300	11.0	10.5	30	3	M	
	茨戸水再生プラザ		立軸斜流	500	30.0	17.0	120	3	M	
			〃	900	100.0	17.0	400	4	M	
	豊平川 水再生 プラザ	第1	立軸渦巻斜流	400	22.5	8.1	45	3	M	
			〃	600	45.0	7.6	80	2	M	
			立軸斜流	800	75.0	9.0	180	2	M	
		第2	〃	800	80.0	14.0	270	3	M	
			立軸斜流	500	30.0	12.7	95	2	M	
〃			800	86.0	12.9	265	3	M		
厚別水再生プラザ		立軸斜流	450	25.0	13.0	85	4	M		
		〃	450	35.0	13.5	120	1	M		
		〃	800	87.0	12.6	250	3	M		
東部水再生プラザ		立軸斜流	500	35.0	22.0	190	2	M		
		〃	700	70.0	22.0	370	1	M		
新川 水再生 プラザ	第1	立軸斜流	600	44.5	12.0	125	3	M		
		〃	800	89.0	12.0	290	2	M		
	第2	立軸斜流	600	45.0	12.0	140	3	M		
		〃	1,000	130.0	12.0	370	2	M		
手稲水再生プラザ		立軸斜流	600	45.0	14.1	150	2	M		
		〃	1,000	130.0	13.8	420	1	M		
		〃	1,000	130.0	14.1	420	1	M		
		〃	1,350	250.0	13.8	810	2	M		
雨水ポンプ	創成川 水再生 プラザ	第2 雨水 ポンプ 施設	立軸斜流	1,800	420.0	12.5	1,800PS	3	D	
			立軸斜流	2,200	660.0	11.5	2,600PS	3	D	
	伏古川水再生プラザ		立軸斜流	500	35.0	6.0	50	2	M	
			横軸斜流	1,200	180.0	7.5	450PS	2	D	
	茨戸水再生プラザ		立軸斜流	1,000	140.0	10.9	370	2	M	
			〃	1,500	320.0	11.2	1,300PS	1	D	
			〃	1,800	420.0	14.0	2,100PS	1	D	
	豊平川 水再生 プラザ	第1	横軸斜流	1,500	330.0	3.8	400PS	3	D	
			立軸斜流	700	69.0	9.0	150	2	M	
		第2	〃	1,350	243.0	7.8	620PS	3	D	
	新川 水再生 プラザ	第1	立軸斜流	900	110.0	6.0	150	2	M	
			横軸斜流	1,350	260.0	7.0	600PS	3	D	
手稲水再生プラザ		立軸斜流	1,350	250.0	10.7	620	1	M		
		〃	2,600	930.0	8.7	2,600PS	2	D		

1 ポンプの種類は、Mが電動、Dがディーゼル

2 電動機の出力はkW、ディーゼルはPSで表示

## 返送汚泥ポンプ

令和4年3月31日現在

区分	施設名		型式	口径 (mm)	揚水量 (m <sup>3</sup> /分・台)	揚程 (m)	出力 (kW)	台数 (台)	種類	備考
返送汚泥ポンプ	創成川 水再生プラザ	第1	吸込スクリー汚泥ポンプ	300	7.5	6.1	22	6	M	
		第2	吸込スクリー汚泥ポンプ	300	8.0	12.0	30	4	M	
	拓北水再生プラザ		吸込スクリー汚泥ポンプ	125	2.2	5.0	5.5	2	M	
			〃	250	3.1	4.0	5.5	2	M	
	伏古川水再生プラザ		吸込スクリー水中ポンプ	150	5.4	12.0	30	4	M	予備2台
	茨戸水再生プラザ		吸込スクリー汚泥ポンプ	300	18.0	8.3	55	4	M	
			〃	250	9.0	10.0	37	2	M	
	豊平川 水再生プラザ	第1	吸込スクリー汚泥ポンプ	250	8.0	10.0	30	6	M	
		第2	〃	250	10.6	12.0	37	6	M	
	厚別水再生プラザ		吸込スクリー汚泥ポンプ	250	13.4	6.5	37	4	M	
			〃	300	18.0	7.0	37	2	M	
	定山溪水再生プラザ		吸込スクリー水中ポンプ	100	1.2	2.6	1.5	6	M	予備2台
			〃	100	1.4	7.0	3.7	2	M	予備2台
	東部水再生プラザ		吸込スクリー汚泥ポンプ	300	14.3	8.3	37	2	M	
	新川 水再生プラザ	第1	吸込スクリー水中ポンプ	150	8.1	17.6	45	4	M	予備3台
吸込スクリー汚泥ポンプ			300	9.5	3.5	11	4	M	1、2系のみ更新	
第2		吸込スクリー汚泥ポンプ	300	12.9	9.1	37	4	M		
手稲水再生プラザ		吸込スクリー汚泥ポンプ	300	13.6	11.0	45	6	M		
		〃	250	13.6	11.0	45	2	M		
		〃	300	13.6	9.5	45	2	M		

## その他ポンプ設備

令和4年3月31日現在

施設名	用途	型式	口径 (mm)	揚水量 (m <sup>3</sup> /分・台)	揚程 (m)	出力 (kW)	台数 (台)	種類	備考	
創成川 水再生プラザ	高度処理	原水揚水	立軸斜流	500	34.0	13.0	120	4	M	
	雨水貯留管	雨水返送	立軸スクリー付渦巻斜流	500	30.0	22.0	150	3	M	
	新琴似流雪溝	送水	立軸渦巻	400	18.0	12.1	55	1	M	
	創成東流雪溝	送水	立軸渦巻	300	10.2	15.0	45	2	M	
	新琴似北流雪溝	送水	片吸込横軸渦巻	250	9.0	8.0	18.5	2	M	昼用
			〃	100	2.4	7.0	5.5	1	M	夜用
	安春川流雪溝	送水	立軸渦巻	400	15.0	12.2	45	2	M	
せせらぎ	送水	横軸渦巻	200	4.2	7.0	7.5	2	M		
伏古川 水再生プラザ	雨水貯留管	雨水返送	吸込スクリー 水中ポンプ	350	12.6	20.0	75	4	M	
豊平川 水再生プラザ	雨水貯留管	雨水返送	水中汚水ポンプ (フライホイール付)	350	13.0	25.0	110	3	M	
	北郷流雪溝	送水	横軸渦巻	300	18.0	48.0	210	1	M	昼用
〃			150	2.4	9.5	5.5	1	M	夜用	
厚別 水再生プラザ	汚水調整池	消泡水	横軸渦巻	50	0.7	24.0	7.5	2	M	
		排水	横軸渦巻	125	1.7	15.0	11	2	M	
		汚泥引抜	片吸込み渦巻	200	3.0	9.0	7.5	2	M	
		池洗浄	槽外形横軸渦巻	80	2.2	30.0	18.5	2	M	
東部 水再生プラザ	高度処理	原水揚水	横軸渦巻	80	1.25	16.0	7.5	4	M	
	汚水調整池	返送水	横軸吸込スクリー渦巻	150	3.3	14.0	18.5	2	M	
	排水処理	冷却水送水	片吸込み渦巻	200	2.7	19.0	15	3	M	
新川 水再生プラザ	発寒流雪溝	送水	横軸渦巻	300	9.0	35.0	110	2	M	昼用
			〃	150	2.4	27.0	18.5	1	M	夜用
	琴似流雪溝	送水	横軸渦巻	300	9.0	34.0	75	2	M	昼用
			〃	150	2.4	26.0	18.5	1	M	夜用
新川融雪槽	送水	横軸渦巻	500	30.0	6.2	45	3	M		

1 ポンプの種類Mは電動をあらわす。

## ブロワ設備

令和4年3月31日現在

区分	施設名		型式	送風機	吐出圧力	出力	台数	備考
				(Nm <sup>3</sup> /分・台)	(mmAq)	(kW)	(台)	
主ブロワ	創成川 水再生プラザ	第1	片吸込8段ターボブロワ	110	6,300	180	4	
		第2	片吸込単段増速ターボブロワ	124	5,500	220	3	
	拓北水再生プラザ		片吸込8段ターボブロワ	50	5,500	90	3	
	伏古川水再生プラザ		片吸込8段ターボブロワ	110	5,700	170	4	
	茨戸水再生プラザ		片吸込8段ターボブロワ 〃	160	5,800	280	3	
				160	5,800	240	2	
	豊平川 水再生プラザ	第1	片吸込5段ターボブロワ	165	5,500	270	4	
		第2	片吸込高速電動機直結型単段ターボブロワ	140	6,630	230	4	
	厚別水再生プラザ		片吸込5段ターボブロワ	151	5,500	270	5	
	定山溪水再生プラザ		ルーツブロワ	28	4,898	45	3	
	東部水再生プラザ		片吸込多段ブロワ	167	7,000	290	2	
	新川 水再生プラザ	第1	片吸込5段ターボブロワ	168	5,530	270	5	
		第2	片吸込高速電動機直結型単段ターボブロワ	180	6,300	240	3	
手稲水再生プラザ		片吸込5段ターボブロワ 〃	215	5,800	360	3		
			215	5,600	340	2		
その他	創成川	高度処理施設	片吸込多段ターボブロワ	50	4,400	70	2	洗浄用
	厚別	汚水調整池	片吸込8段ターボブロワ	110	6,000	180	3	
	新川	融雪槽	ルーツブロワ	20	4,690	30	4	

## 脱水施設

令和4年3月31日現在

施設名	生污泥濃縮槽		脱水機			備考
	槽数 (槽)	容量 (m <sup>3</sup> /槽)	型式	処理能力 (m <sup>3</sup> /時)	台数 (台)	
西部スラッジ センター	8	1,018	横軸高効率遠心型	50	6	能力は3%濃度時
			圧入式スクリーンプレス	1.28	2	能力は3%濃度時
東部スラッジ センター	4	1,021	横軸高効率遠心型	50	3	能力は3%濃度時

## 焼却施設

令和4年3月31日現在

施設名	焼却炉				排ガス処理	備考
	型式	焼却能力 (kg/h)	火床面積 (m <sup>2</sup> )	炉数 (炉)		
西部スラッジ センター	階段式 ストーカ炉	1,882	23.53	1	マルチサイクロン、電気集じん機	能力は乾燥脱水汚泥量 (含水率40%)
		2,083	17.00	1		
		2,430	22.00	2		
		3,050	40.00	1		
東部スラッジ センター	循環式流動炉	6,250	2.46	1	バグフィルタ	1号炉
		6,250	4.52	1	バグフィルタ	2号炉

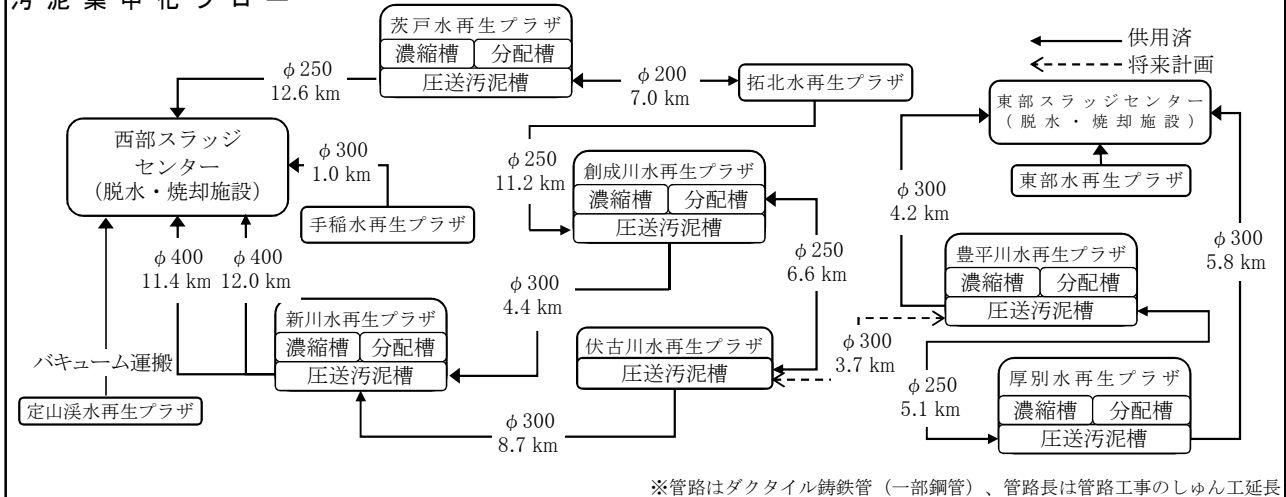


汚泥圧送

施設名	汚泥濃度調整槽		圧送汚泥槽		汚泥圧送ポンプ（電動）					
	槽数 (槽)	容量 (m <sup>3</sup> /槽)	槽数 (槽)	容量 (m <sup>3</sup> /槽)	型式	口径 (mm)	揚水量 (m <sup>3</sup> /分・台)	揚程 (m)	出力 (kW)	台数 (台)
創成川水再生プラザ	4	333	2	673	吸込スクリー式	200×150	4.3	32.0	37	2
	1	666								
拓北水再生プラザ	2	112	2	80	横軸渦巻	150×125	3.0	37.5	45	2
						150×150				
伏古川水再生プラザ	—	—	3	204	吸込スクリー式	200×150	3.0	41.0	45	2
茨戸水再生プラザ	2	600	1	430	吸込スクリー式	150×100	2.6	37.5	37	2
			1	470	吸込スクリー式	150×100	2.6	37.5	45	2
豊平川水再生プラザ	4	589	2	150	吸込スクリー式	200×150	4.2	37.0	55	2
厚別水再生プラザ	4	565	2	535	吸込スクリー式	200×150	4.2	55.0	75	2
東部水再生プラザ	—	—	—	—	横軸吸込スクリー渦巻	125×100	1.5	36.0	22	2
	—	—	—	—	吸込スクリー式	100×80	0.76	13.0	5.5	2
新川水再生プラザ	3	733	2	588	吸込スクリー式	250×150	7.5	80.0	180	2
手稲水再生プラザ	3	724	2	320	片吸込渦巻	250×125	3.7	40.0	55	2

汚泥集中化フロー

※拓北・茨戸水再生プラザの汚泥圧送ポンプは2台直列で使用



水質監視用計測器

(台)

	設置場所	創成川 水再生プラザ	拓北 水再生プラザ	伏古川 水再生プラザ	茨戸 水再生プラザ
DO計	反応タンク	14	4	12	9
MLSS計	反応タンク	5	2	8	9
濁度計	最終沈殿池	7	1	1	1
汚泥 界面計	最終沈殿池	7	2	4	5
	濃縮槽	—	—	—	—
ORP計	反応タンク	10	4	16	1
アンモニア計	最終沈殿池	1	1	1	—

(台)

	設置場所	豊平川 水再生プラザ	厚別 水再生プラザ	定山溪 水再生プラザ	東部 水再生プラザ	新川 水再生プラザ	手稲 水再生プラザ
DO計	反応タンク	13	8	4	4	14	16
MLSS計	反応タンク	6	4	4	4	8	5
濁度計	最終沈殿池	2	1	1	1	3	1
汚泥 界面計	最終沈殿池	6	4	1	2	8	5
	濃縮槽	—	—	2	—	3	—
ORP計	反応タンク	11	8	—	4	8	6
アンモニア計	最終沈殿池	—	1	—	1	1	—

## 電気設備

施設名	区分	受電電圧 [V]	契約電力 [kW]	設備容量 [kW]	自家発電設備		設備台数	種類	相数	変圧器			コンデンサ 調相容量 [kVA]		
					電圧 [V]	容量 [kVA]				種別	1次[V]/2次[V]	容量 [kVA]		台数	
創成川 水再生プラザ	全体	66,000	3,400	11,023	6,600	1,500	常用	2	D	3	66,000/6,600	4,500	2	-	
	第1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6,600/420	500	2	1,400	
	第2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6,600/210	300	1		
	汚泥工場	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6,600/210-105	150	1		
	雨水ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6,600/420	1,000	2		
	高度処理	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6,600/210-105	200	1		
	雨水貯留管	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6,600/420	500	1		
	流雪溝	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6,600/210-105	75	1		
流雪溝	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6,600/420	200	1			
拓北水再生プラザ		6,600	301~ 343	654	6,600	1,000	非常用	1	GT	3	6,600/400	750	2	325	
伏古川水再生プラザ		6,600	1,250	5,429	6,600	750	常用	2	D	3	6,600/210	750	2	750	
										3	6,600/420	750	1		
										3	6,600/420	200	1		
										1	6,600/210-105	200	1		
茨戸水再生プラザ		66,000	2,960	6,392	6,600	1,800	非常用	2	D	3	66,000/6,600	5,500	2	850	
										3	6,600/415	750	2		
										3	6,600/420	300	2		
										3	6,600/210	200	1		
										1	6,600/210-105	200	1		
										1	6,600/210-105	50	1		
豊平川 水再生プラザ	全体	66,000	3,600	12,044	6,600	1,500	常用	2	D	3	66,000/6,600	4,000	2	1,850	
	第1	-	-	6,798	-	-	-	-	-	3	6,600/420	1,000	2	700	
	第2	-	-	3,317	-	-	-	-	-	1	6,600/210-105	300	1		
	汚泥圧送	-	-	1,261	-	-	-	-	-	-	3	6,600/420	1,000	2	-
	流雪溝	-	-	231	-	-	-	-	-	3	6,600/210-105	150	1		
雨水貯留	-	-	437	-	-	-	-	-	3	6,600/420	750	1			
厚別水再生プラザ		6,600	2,250	7,778	6,600	1,250 1,500	常用 常用	1 1	D D	3 1	6,600/420 6,600/210-105	1,000 200	2 1	1,400	
	汚水調整池	6,600	298~ 315	1,172	420	100	非常用	1	D	3	6,600/420	500	1		180
定山溪水再生プラザ		6,600	110~ 113	282	6,600	250	非常用	1	D	3	6,600/200	300	2	150	
										1	6,600/200-100	50	1		
東部水再生プラザ		66,000	2,930	2,837	6,600	2,500	非常用	1	D	3	66,000/6,600	6,000	2	551	
										3	6,600/420	750	3		
										1	6,600/210-105	300	1		
										3	6,600/210	150	1		
										3	6,600/420	500	2		
新川 水再生プラザ	全体	66,000	3,450	8,022	6,600 6,600	1,000 2,000	非常用 非常用	1 1	D GT	3	66,000/6,600	6,000	2	2,400	
	第1	-	-	4,190	-	-	-	-	-	3	6,600/400	750	2	800	
	第2	-	-	2,597	-	-	-	-	-	1	6,600/200-100	200	1		
	汚泥工場	-	-	63	-	-	-	-	-	3	6,600/400	1,000	2	-	
	流雪溝	-	-	474	-	-	-	-	-	1	6,600/200-100	150	1		
	汚泥圧送	-	-	363	-	-	-	-	-	3	6,600/400	750	1		
	融雪槽	-	-	336	-	-	-	-	-	3	6,600/400	300	1		
手稲水再生プラザ		6,600	3,150	8,102	6,600	2,500	常用	2	D	3	6,600/400	2,000	2	1,550	
					420	22	常用	1	W	1	6,600/200-100	500	1		
西部 スラッジ センター	全体	66,000	2,800~ 3,550	11,969	-	-	-	-	-	3	66,000/6,600	7,500	2	-	
	脱水施設	-	-	-	6,600	750	非常用	1	GT	3	6,600/400	1,500	2	800	
										3	6,600/400	1,000	2		
										3	6,600/200	75	1		
									1	6,600/200-100	200	2			
焼却施設		-	-	-	6,600	500 875	非常用 非常用	1 1	D D	3 3	6,600/400 6,600/400	1,500 1,000	2 2	2,579	
										3	6,600/400	2,000	2		
東部 スラッジ センター	全体	-	-	4,464	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	脱水施設	-	-	1,830	-	-	-	-	-	3	6,600/420	1,500	2	1,010	
										3	6,600/420	750	1		
焼却施設	-	-	2,633	-	-	-	-	-	1	6,600/210-105	200	1			
厚別コンポスト工場		6,600	休止中	2,439	420	250	非常用	1	D	3	6,600/400	1,000	2	550	
										3	6,600/400	500	1		
										1	6,600/200-100	200	1		
手稲沈砂洗浄センター		6,600	171~ 173	240	420	100	非常用	1	D	3	6,600/415	500	1	180	
										1	415/210-105	50	1		
厚別洗浄センター		6,600	156~ 176	730	-	-	-	-	-	3	6,600/420	750	1	120	
										1	6,600/210-105	100	1		

自家発電機の種類で、Dはディーゼル、GTはガスタービン、Wは小水力を示す。

## (3) ポンプ場施設能力の現況と計画

令和4年3月31日現在

区分 ポンプ場名	排水面積 (ha)						排水人口 (千人)
	計画			現在			
	合流	分流	全体	合流	分流	全体	
創成川第2	廃止						
創成川第3	廃止						
茨戸中部	(汚) 1,557 809 (雨) (1,644) 1,173	(汚) (134) 30 (雨) —	(汚) (1,691) 839 (雨) (1,644) 1,173	(汚) (1,563) 790 (雨) (1,649) 1,152	(汚) (114) 31 (雨) —	(汚) (1,677) 821 (雨) (1,649) 1,152	(102) 58
茨戸東部	(汚) 927 (雨) 497	(汚) 129 (雨) —	(汚) 1,056 (雨) 497	(汚) 773 (雨) 497	(汚) 83 (雨) —	(汚) 856 (雨) 497	44
東雁来雨水	— (雨) 409	— (雨) —	— (雨) 409	— (雨) 409	— (雨) —	— (雨) 409	—
伏古川雨水	— (雨) 316	— (雨) —	— (雨) 316	— (雨) 316	— (雨) —	— (雨) 316	—
豊平川	— (雨) 202	— (雨) —	— (雨) 202	— (雨) 202	— (雨) —	— (雨) 202	—
米里	(汚) 161 (雨) 161	— (雨) —	(汚) 161 (雨) 161	(汚) 160 (雨) 160	— (雨) —	(汚) 160 (雨) 160	2
月寒川雨水	— (雨) 106	— (雨) —	— (雨) 106	— (雨) 106	— (雨) —	— (雨) 106	—
野津幌川雨水	— (雨) —	— (雨) 259	— (雨) 259	— (雨) —	— (雨) 251	— (雨) 251	—
川北	— (雨) —	(汚) 76 (雨) 164	(汚) 76 (雨) 164	— (雨) —	(汚) 72 (雨) 160	(汚) 72 (雨) 160	6
厚別川雨水	— (雨) —	— (雨) 365	— (雨) 365	— (雨) —	— (雨) 363	— (雨) 363	—
定山溪	— (雨) —	(汚) 27 (雨) —	(汚) 27 (雨) —	— (雨) —	(汚) 26 (雨) —	(汚) 26 (雨) —	1
藤野	— (雨) —	(汚) 77 (雨) —	(汚) 77 (雨) —	— (雨) —	(汚) 76 (雨) —	(汚) 76 (雨) —	4
簾舞	— (雨) —	(汚) 95 (雨) —	(汚) 95 (雨) —	— (雨) —	(汚) 80 (雨) —	(汚) 80 (雨) —	2
藻岩下第2	— (雨) —	(汚) 8 (雨) —	(汚) 8 (雨) —	— (雨) —	(汚) 8 (雨) —	(汚) 8 (雨) —	1
手稲	(汚) 2,417 (雨) 2,417	(汚) 577 (雨) —	(汚) 2,994 (雨) 2,417	(汚) 2,318 (雨) 2,318	(汚) 570 (雨) —	(汚) 2,888 (雨) 2,318	205
茨戸西部	(汚) 1,190 (雨) 1,190	(汚) 22 (雨) 20	(汚) 1,212 (雨) 1,210	(汚) 1,137 (雨) 1,137	(汚) 22 (雨) 20	(汚) 1,159 (雨) 1,157	89
計	(汚) 5,504 (雨) 6,471	(汚) 1,041 (雨) 808	(汚) 6,545 (雨) 7,279	(汚) 5,178 (雨) 6,297	(汚) 968 (雨) 794	(汚) 6,146 (雨) 7,091	411

1 茨戸東部の排水は茨戸中部を経て排水される。( )内の数値は茨戸中部+茨戸東部

2 東雁来雨水と茨戸東部の雨水の計画排水面積は一部(133ha)が重なり、両ポンプ場に計上している。

令和4年3月31日現在

区分 ポンプ場名	揚水能力 (m <sup>3</sup> /分)				排除方式	放流先	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	運転開始 年月
	汚水ポンプ		雨水ポンプ					
	計画	現在	計画	現在				
創成川第2	廃止							
創成川第3	廃止							
茨戸中部	171.0	171.0	2,959.0	2,470.0	合流	伏籠川	12,597	昭和51年11月
茨戸東部	95.0	95.0	1,009.0	739.0	合流	篠路新川	9,489	昭和57年4月
東雁来雨水	—	—	636.0	636.0	合流	豊平川	11,000	平成30年5月
伏古川雨水	—	—	767.0	767.0	合流	伏籠川	5,048	昭和62年4月
豊平川	—	—	672.0	672.0	合流	月寒川	2,350	昭和47年6月
米里	39.4	25.4	492.0	316.0	合流	豊平川	6,747	昭和60年4月
月寒川雨水	—	—	230.0	230.0	合流	月寒川	813	昭和56年8月
野津幌川雨水	—	—	558.0	558.0	分流	野津幌川	(水再生プラザ敷地内) 3,210	平成元年4月
川北	8.6	4.3	420.0	280.0	分流	月寒川	3,713	平成元年10月
厚別川雨水	—	—	1,200.0	720.0	分流	厚別川	6,167	平成5年4月
定山溪	13.0	13.0	—	—	分流	—	630 (150)	昭和46年4月
藤野	5.3	5.3	—	—	分流	—	1,335	昭和58年4月
簾舞	6.6	6.6	—	—	分流	—	1,500	昭和62年4月
藻岩下第2	1.0	1.0	—	—	分流	—	(占用) 98	昭和53年4月
手稲	397.8	397.8	4,668.0	3,720.0	合流 (一部分流)	新川	13,171	昭和49年4月
茨戸西部	151.0	150.0	2,224.0	2,564.0	合流	発寒川	12,870	昭和50年7月
計	888.7	869.4	15,835.0	13,672.0	—	—	90,738	—

注：敷地面積は、地積測量図の地積。( )内数値は占用部分で内数

## (4) ポンプ場設備の現況

## ポンプ設備

令和4年3月31日現在

区分 ポンプ場名	汚 水 ポ ン プ						
	型 式	口 径 (mm)	揚 水 量 (m <sup>3</sup> /分・台)	揚 程 (m)	出 力 (kW)	台 数	種 類
創成川第2	<b>廃止</b>						
創成川第3							
茨戸中部	立軸斜流	700	64	8.4	130	2	M
	〃	900	107	8.4	215	2	M
茨戸東部	立軸斜流	450	23	10.3	65	2	M
	〃	600	49	10.3	130	2(内1台※)	M
東雁来雨水	-	-	-	-	-	-	-
伏古川雨水	-	-	-	-	-	-	-
豊平川	-	-	-	-	-	-	-
米里	立軸渦巻斜流	200	4.2	10	15	2	M
	〃	350	17.0	11	55	2	M
月寒川雨水	-	-	-	-	-	-	-
野津幌川雨水	-	-	-	-	-	-	-
川北	水中ポンプ(渦巻) (無閉塞スクリー式)	200	4.3	30	45	2	M
厚別川雨水	-	-	-	-	-	-	-
定山溪	立軸スクリー式	200	4.33	38	60	4	M
藤野	水中ポンプ(渦巻)	200	4.75	30.5	45	3	M
簾舞	水中ポンプ(渦巻)	250	4.0	50	75	2	M
藻岩下第2	水中ポンプ(渦巻)	100	1.5	11.5	5.5	2	M
	〃	200	3.3	19.4	21	1	M
手稲	立軸斜流	600	39	13.8	130	1	M
	〃	1,000	138	14.1	445	2	M
	〃	1,350	221	9.3	465	2	M
茨戸西部	立軸斜流	500	43	9.5	110	2	M
	〃	600	64	9.8	170	2	M

1 ポンプ種別でMは電動、Dはディーゼル、GTはガスタービンを示す。

2 電動機出力はkW、ディーゼル・ガスタービンはPSで表示

3 ※は、汚水と雨水の兼用を示す。

令和4年3月31日現在

区分 ポンプ場名	雨 水 ポ ン プ						
	型 式	口 径 (mm)	揚 水 量 (m <sup>3</sup> /分・台)	揚 程 (m)	出 力 (kW)	台 数	種 類
創成川第2	<b>廃止</b>						
創成川第3							
茨戸中部	立軸斜流	1,350	245	7.8	465	2	M
	〃	2,200	660	7	1,650 PS	4	D
茨戸東部	立軸斜流	1,000	150	9.1	320	1	M
	〃	1,500	270	9.1	850 PS	3	D
東雁来雨水	立軸斜流	800	90	18.5	400	2	M
	〃	1,350	228	18.5	1360PS	3	GT
伏古川雨水	立軸斜流	500	35	14	120	1	M
	〃	1,000	120	11	300	1	M
	〃	1,350	204	11	800 PS	4	D
豊平川	立軸斜流	700	60	8.2	115	1	M
	〃	1,200	204	8.5	600 PS	3	GT
米里	立軸斜流	500	36	11.5	110	1	M
	〃	1,000	140	11.0	550 PS	2	D
月寒川雨水	立軸斜流	1,350	230	4.8	370 PS	2	D
野津幌川雨水	立軸斜流	800	75	14	250	2	M
	〃	1,350	204	12.5	900 PS	3	D
川北	立軸斜流	1,000	140	11.5	360	3	M
厚別川雨水	立軸斜流	1,000	120	13.7	400	2	M
	〃	2,000	480	13.7	2,300 PS	2	D
定山溪	-	-	-	-	-	-	-
藤野	-	-	-	-	-	-	-
簾舞	-	-	-	-	-	-	-
藻岩下第2	-	-	-	-	-	-	-
手稲	立軸斜流	2,600	930	11.3	3,370 PS	3	D
					3,536 PS	1	GT
茨戸西部	立軸斜流	1,000	139	6.1	210	2	M
	〃	2,000	572	5.7	1,100 PS	3	D
	〃	2,000	570	13.7	1,890	1	GT

1 ポンプ種別でMは電動、Dはディーゼル、GTはガスタービンを示す。

2 電動機出力はkW、ディーゼル・ガスタービンはPSで表示

3 ※は、汚水と雨水の兼用を示す。

## 沈砂池設備

令和4年3月31日現在

区分 ポンプ場名	沈 砂 池										
	用途	池数	容量 (m <sup>3</sup> /池)	型式	除 じ ん 設 備			除 砂 設 備			
					方 式	台 数	付 属 設 備	方 式	台 数	付 属 設 備	
創成川第2											<b>廃止</b>
創成川第3											
茨戸中部	汚水	4	300	矩形 平行流	細目	〃	4	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットコンベヤ	機械掻揚	4	トラフコンベヤ バケットコンベヤ
	雨水	4	300	〃	細目	〃	4		機械掻揚 (埋没防止型)	4	
茨戸東部	汚水	3	230	矩形 平行流	細目	〃	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットコンベヤ	機械掻揚	3	トラフコンベヤ
	雨水	3	470	〃	細目	〃	3		機械掻揚 (埋没防止型)	3	スクリュウコンベヤ
東雁来雨水	雨水	3	132	矩形 平行流	細目	〃	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	真空揚砂装置	3	沈砂分離機
伏古川雨水	雨水	3	360	矩形 平行流	細目	〃	3	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	機械掻揚	3	トラフコンベヤ バケットエレベータ
豊平川	雨水	2	85.6	〃	細目	〃	2	自動バースクリーン ベルトコンベヤ	混気ジェット ポンプ	2	トラフコンベヤ
米里	汚水	2	15.3	矩形 平行流	細目	〃	2	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットエレベータ	機械掻揚	2	トラフコンベヤ バケットエレベータ
	雨水	2	88.0	〃	細目	〃	1			2	
月寒川雨水	雨水	1	-	-	粗目	〃	2	自動バースクリーン	-	-	-
野津幌川雨水	雨水	3	240	矩形 平行流	粗目	〃	3	自動バースクリーン バケットエレベータ	機械掻揚	6	トラフコンベヤ バケットエレベータ
					細目	〃	3	ベルトコンベヤ			
川北	汚水	-	-	-	粗目	〃	1	人力掻揚	-	-	-
	雨水	2	107.5	矩形 平行流	粗目	〃	2	自動バースクリーン ベルトコンベヤ	機械掻揚 (埋没防止型)	2	トラフコンベヤ バケットエレベータ
厚別川雨水	雨水	2	156	矩形 平行流	粗目	〃	2	自動バースクリーン	機械掻揚 (埋没防止型)	4	トラフコンベヤ バケットエレベータ
					細目	〃	2	ベルトコンベヤ			
定山溪	汚水	-	-	-	粗目	〃	1	コンピューター (人力掻揚)	-	-	-
藤野	汚水	-	-	-	粗目	〃	1	スミカッター (人力掻揚)	-	-	-
簾舞	汚水	-	-	-	粗目	〃	1	スミカッター (人力掻揚)	-	-	-
藻岩下第2	-	1	-	-	細目	〃	1	(人力掻揚)	-	-	-
手稲	汚水	4	120	矩形	細目	〃	4	自動バースクリーン ベルトコンベヤ	機械掻揚 (埋没防止型)	4	トラフコンベヤ
		2	191	平行流	細目	〃	2		機械掻揚	2	ベルトコンベヤ
	雨水	3	260	〃	細目	〃	3		機械掻揚 (埋没防止型)	3	バケットエレベータ 混気ジェットポンプ
茨戸西部	汚水 雨水 共	4	58	矩形 平行流	細目	〃	4	自動バースクリーン スクリュウコンベヤ バケットコンベヤ	機械掻揚	4	トラフコンベヤ バケットコンベヤ
	雨水	1	378	〃	細目	〃	2		バキューム車	1	圧力水集砂装置

## 電気設備

令和4年3月31日現在

区分 ポンプ場名	受電 電圧 [V]	契約 電力 [kW]	設備 容量 [kW]	自家発電設備			設備			変圧器			コンデンサ	
				電圧 [V]	容量 [kVA]	種別	台数	種類	相数	電圧 1次[V]/2次[V]	容量 [kVA]	台数	調相容量 [kVA]	
創成川第2														
創成川第3														
茨戸中部	6,600	960~970	2,530	6,600	1,500	非常用	1	D	3	6,600/420	1,000	2	450	
									1	6,600/210-105	100	1		
茨戸東部	6,600	700	1,318	6,600	800	非常用	1	D	3	6,600/415	500	2	210	
									1	6,600/200-105	100	1		
東雁来雨水	6,600	800	1,919	6,600	1,000	非常用	1	D	3	6,600/420	500	2	175	
									1	6,600/210-105	75	1		
伏古川雨水	6,600	349~363	958	6,600	400	非常用	1	D	3	6,600/400	300	2	350	
									1	6,600/200-100	50	1		
豊平川	6,600	179~187	622	6,600	625	非常用	1	GT	3	6,600/400	300	2	190	
									1	6,600/200-100	30	1		
米里	6,600	221~223	615	6,600	500	非常用	1	GT	3	6,600/400	300	2	170	
									1	6,600/200-100	50	1		
月寒川雨水	200 100	電力39 電灯7	46	200	100	非常用	1	D	-	-	-	-	-	
野津幌川	6,600 (処理場 から送 電)	350 (処理場 に含む)	899	-	-	-	-	-	3	6,600/3,300	1,500	1	-	
									3	6,600/3,300	500	1		
									3	3,300/400	300	2		
									1	3,300/200-100	75	1		
川北	6,600	359~429	1,693	6,600	1,250	常用	2	D	3	6,600/400	300	2	450	
									1	6,600/200-100	50	1		
厚別川雨水	6,600	382~413	1,306	6,600	625	常用	1	D	3	6,600/420	500	2	320	
										6,600/200-100	75	1		
定山溪	6,600	52~71	373	420	500	非常用	1	GT	3	6,600/420	750	1	60	
藤野	6,600	83~117	154	200	200	非常用	1	GT	3	6,600/210	300	1	30	
簾舞	6,600	62~86	264	420	400	非常用	1	GT	3	6,600/420	500	1	60	
藻岩下第2	200 100	電力26 電灯20A	37	200 (100)	89	非常用	1	D	-	-	-	-	-	
手稲	6,600	1,400	3,727	6,600	2,000	非常用	1	D	3	6,600/400	750	2	1,820	
									3	6,600/200	100	1		
									1	6,600/200-100	300	1		
茨戸西部	6,600	900	1,885	6,600	1,000	非常用	1	GT	3	6,600/420	750	2	425	
									1	6,600/210-105	75	1		
									1	6,600/210-105	50	1		

自家発電機の種類で、Dはディーゼル、GTはガスタービンを示す。



## (5) その他施設の概要

## 西部スラッジセンター

敷地面積 86,913 m<sup>2</sup>

## ①脱水施設

- 1) 運転開始 平成12年3月
- 2) 脱水機能力 50 m<sup>3</sup>/時・台×6台
- 3) 脱水方式 遠心脱水方式
- 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台数
濃縮 設備	分配槽	鋼板製×1槽(可動堰2門)、RC製×2槽(可動堰各4門)	3槽
	濃縮槽	RC製重力式、18mφ、1,018 m <sup>3</sup> 、掻寄機：中央駆動支柱型	8槽
脱 水 設 備	遠心脱水機	No. 1～4：横軸高効率遠心型50 m <sup>3</sup> /時、主：132 kW、油圧：45 kW No. 5・6：低動力型高効率遠心型50 m <sup>3</sup> /時、主：132 kW、差速：37 kW	6台
	分配ホッパ	供給装置付立形円筒鋼板製ホッパ、No. 1・2：3.5 mφ×2.6 mH、No. 3：3.2 mφ×2.0 mH、20 m <sup>3</sup> /時	3基
	脱水ケーキ移送ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、No. 1～4：19.2 m <sup>3</sup> /時、150φ、132 kW、No. 5・6：20 m <sup>3</sup> /時、230φ、132 kW	6台
	計量ホッパ	鋼板製角型ホッパ、2 m <sup>3</sup> 、20 m <sup>3</sup> /時	2基
	ケーキ移送中継ポンプ	ダブルシリンダ式ピストンポンプ、19.2 m <sup>3</sup> /時、150φ、132 kW	2台
	ポリマーサイロ	鋼板製円筒下部円錐槽、2.7 mφ×7.5 mH、有効27 m <sup>3</sup>	1基
	ポリマー溶解槽	攪拌機付自動溶解槽、3.9 mφ×3.3 mH、有効27 m <sup>3</sup> 、15 kW	4基
返 流 水 設 備	排水槽	RC製、17 mW×19 mL×5 mH、有効1,130 m <sup>3</sup>	2槽
	急速攪拌槽	RC製、2.5 mW×7 mL×4 mH、有効52.5 m <sup>3</sup> 、攪拌機：立軸パドル式ミキサー	2槽
	緩速攪拌槽	RC製、7 mW×7 mL×4 mH、有効147 m <sup>3</sup> 、攪拌機：立軸パドル式ミキサー	2槽
	凝集沈殿池	RC製重力式、18 mφ、1,018 m <sup>3</sup> 、掻寄機：中央駆動支柱型	2槽
	返水槽	RC製、17 mW×14 mL(19 mL)×5 mH、有効1,130 m <sup>3</sup> ×1槽、833 m <sup>3</sup> ×1槽	2槽
	返水ポンプ	横軸渦巻形、200A×150A、4.9 m <sup>3</sup> /分、24.5m、37 kW	5台
用 水 設 備	生物膜ろ過槽	RC製、1.9 mW×2.5 mL×6 mH×4槽、4,320 m <sup>3</sup> /日、ろ速120 m/日	1槽
	通気ブロワ	ルーツ形、40 A、0.57 Nm <sup>3</sup> /分、5,500 mmAq、2.2 kW	2台
	空洗ブロワ	ルーツ形、100 A、4.8 m <sup>3</sup> /分、5,500 mmAq、11 kW	2台
脱 臭 設 備	濃縮棟脱臭塔	立形直投2塔式、200 m <sup>3</sup> /分、100 mmAq	1基
	濃縮棟脱臭ファン	片吸込ターボファン、100 m <sup>3</sup> /分、250 mmAq、11 kW	2台
	脱水棟脱臭塔	立形直投2塔式、200 m <sup>3</sup> /分、100 mmAq	1基
	脱水棟脱臭ファン	片吸込ターボファン、47 m <sup>3</sup> /分、220 mmAq、5.5 kW	1台
電 気 設 備	特別高圧受変電設備	66,000 V 7,500 kVA	2台
	高圧変電設備	6,600 V 1,500 kVA(脱水棟動力用)	2台
		6,600 V 1,000 kVA(濃縮棟動力用)	2台
		6,600 V 75 kVA(付帯動力用)	1台
		6,600 V 200 kVA(電灯用)	2台
		非常用発電設備	6,600 V 750 kVA

## ②定山溪脱水施設

- 1) 運転開始 平成16年3月
- 2) 脱水機能力 1.28 m<sup>3</sup>/時・台×2台
- 3) 脱水方式 圧入式スクリュープレス
- 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台数
受入設備	汚泥貯留槽	円筒立形攪拌槽 26 m <sup>3</sup> 攪拌機 5.5 kW	2槽
脱水設備	脱水機	圧入式スクリュープレス 1.28 m <sup>3</sup> /時 2.1 kW	2台
	脱水機ろ液分離槽	上部円筒下部円錐型 4.4m <sup>3</sup> 0.6kW	2槽
薬注設備	ポリマー溶解槽/貯留槽	立形攪拌槽 1.2 m <sup>3</sup> 攪拌機0.75 kW / 立形円筒貯留槽 3 m <sup>3</sup>	各2槽
	消石灰サイロ	上部円筒下部円錐型サイロ 3.75 m <sup>3</sup> 0.1kW	2台
	消石灰溶解槽/貯留槽	立形攪拌槽 0.4 m <sup>3</sup> 0.2 kW	各2槽
	消石灰混練機	不等速2軸パドル式 3.7kW	2基
搬出設備	ケーキコンベヤ	スクリュース式(無軸) 1.0m <sup>3</sup> /時 (2.2 kW、3.7 kW、2.25 kW)	3台
	ケーキホッパ	カットゲート開閉式 10 m <sup>3</sup> 2.2 kW	2台
用水設備	ろ過水槽	角型パネル槽 15 m <sup>3</sup>	2槽
排水設備	排水槽	鋼板製水槽 18 m <sup>3</sup> 4.4kW	1槽
脱臭設備	脱臭ファン	5 m <sup>3</sup> /分 0.4 kW	1台

## ③焼却施設

- 1) 運転開始 1系列(100 t/日) 令和3年9月 4系列(100 t/日) 平成8年3月  
2系列(100 t/日) 昭和60年4月 5系列(150 t/日) 平成12年8月  
3系列(100 t/日) 平成6年3月
- 2) 焼却能力 脱水ケーキ 550 t/日
- 3) 焼却方式 燃焼回収熱を利用した汚泥間接乾燥焼却方式
- 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台数
汚泥	汚泥タンク	500 m <sup>3</sup> 、円筒形下部掻寄せ出式(1系)	1基
	汚泥ピット	1,000 m <sup>3</sup> 、2 t×13.5 mクラブバケット 電動天井クレーン(3・4・5系)	3基
	乾燥機	伝熱面積 180 m <sup>2</sup> /基(1・2系、5系×2基) 200 m <sup>2</sup> /基(3・4系)	6基
	汚泥焼却炉	階段式ストーカ炉 焼却能力 100 t/日 150 t/日(5系のみ)	5基
乾燥	廃熱ボイラ	蒸気発生量 6,200 kg/時、伝熱面積 414 m <sup>2</sup> (1系) 常用1.72MPa、最大1.96MPa	1基
		蒸気発生量 5,000 kg/時、伝熱面積 334 m <sup>2</sup> (2系)	1基
		蒸気発生量 6,000 kg/時、伝熱面積 414 m <sup>2</sup> (3・4系)	2基
		蒸気発生量 9,000 kg/時、伝熱面積 530 m <sup>2</sup> (5系)	1基
焼却	マルチサイクロン	処理ガス量 10,000 Nm <sup>3</sup> /時(1系)、16,000 Nm <sup>3</sup> /時(2・5系)、13,500 Nm <sup>3</sup> /時(3・4系)	5基
	汚泥アッシュバンカ	油圧開閉式 15m <sup>3</sup> 、油圧ユニット 11kW 及び22kW	13基
	排ガス洗浄塔	水噴霧及びアルカリ噴霧の2段式	5基
250℃ 200℃(1系のみ) 10,000 Nm <sup>3</sup> /時(1・2系)、13,500 Nm <sup>3</sup> /時(3・4系)、16,000 Nm <sup>3</sup> /時(5系)			
備	電気集じん機	湿式電気集じん機 出口ばいじん濃度≤0.1 g/Nm <sup>3</sup>	5基
		処理ガス量 9,000 Nm <sup>3</sup> /時(1系)、10,000 Nm <sup>3</sup> /時(2系)、12,000 Nm <sup>3</sup> /時(3・4系)、13,500 Nm <sup>3</sup> /時(5系)	
電気設備	高圧変電設備	6,600 V 2,000 kVA(5系動力用)2台、1,500 kVA(1,2系動力用)2台、1,000 kVA(3,4系動力用)2台、200 kVA(電灯用1,2,3系各1台の計3台)	9台
	非常用発電設備	6,600 V 500 kVA 875 kVA	2台
	蒸気発電設備	400 V 140kW(1台) 160kW(1台)、400V 50~60kW(バイナリ発電機)(1台)	3台

## 東部スラッジセンター

敷地面積 40,196 m<sup>2</sup>

## ①脱水施設

- 1) 運転開始 平成19年9月
- 2) 脱水機能力 50 m<sup>3</sup>/時・台×3台
- 3) 脱水方式 遠心脱水方式
- 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台数
濃縮設備	汚泥受槽	R C製、有効容量683 m <sup>3</sup> 、攪拌機：立軸パドル式	1槽
	濃縮タンク投入ポンプ	吸込スクリー付汚泥ポンプ、10.6 m <sup>3</sup> /分×15 m、75 kW、VVVF	2台
	汚泥分配槽	R C製4分割型、有効容量9.9 m <sup>3</sup> 、可動堰 900 mmW×500 mmH×4門	1槽
	濃縮汚泥破碎機	二軸せん断式、φ200×1.3 m <sup>3</sup> /分	4台
	濃縮タンク	R C製重力式、18 mφ、有効容量1,021 m <sup>3</sup> 、掻寄機：中央駆動支柱型	4槽
	濃縮汚泥引抜ポンプ	吸込スクリー付汚泥ポンプ、1.3 m <sup>3</sup> /分×5 m、3.7 kW、VVVF	4台
	ピグ受槽	R C製、有効容量20 m <sup>3</sup>	1槽
脱水・ケーキ移送・ケーキ貯留設備	汚泥貯留タンク	R C製、攪拌機：立軸パドル式	2槽
	汚泥貯留タンク引抜破碎機	二軸せん断式、φ300×6.3 m <sup>3</sup> /分	1台
	脱水機給泥ポンプ	吸込みスクリー付汚泥ポンプ、1.3 m <sup>3</sup> /分×20 m、11 kW、VVVF	3台
	遠心脱水機	横型遠心脱水機 50 m <sup>3</sup> /時(25~75 m <sup>3</sup> /時) 主：180 kW、差速：55 kW	3台
	処理水槽	R C製、8.4 mW×8.05 mL×6.8 mH、有効360 m <sup>3</sup>	2槽
	ろ過水槽	R C製、6.55 mW×8.0 mL×6.8 mH、有効300 m <sup>3</sup>	2槽
	返流水槽	R C製、13 mW×12 mL×6.8 mH、有効870 m <sup>3</sup>	2槽
	凝集剤貯留ホッパ	鋼板製円筒下部円錐型、1.8 mφ×4.0 mH、有効6 m <sup>3</sup> 、0.9 kW	2台
	凝集剤定量供給機	一連式定量フィーダ、5 L/分、0.4 kW	3台
	凝集剤溶解槽	鋼板製立型攪拌槽、4.0 mφ×2.0 mH、有効20 m <sup>3</sup> 、11 kW	3基
	脱水ケーキ移送ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、8.8m <sup>3</sup> /時、75 kW	3台
	ケーキ貯留ホッパ	鋼板製円筒型下部掻寄式、6.2 mφ×16.5 mH、有効400 m <sup>3</sup> 、8.8 t/時、11 kW	2基
	貯留ケーキ移送ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、8.8 t/時、30 kW	2台
	ケーキ受入ホッパ	鋼板製角槽形下部切出多軸スクリー式、12.5 m <sup>3</sup> 、11 m <sup>3</sup> /時、7.5 kW×2	1基
受入ケーキ移送ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、8.8 m <sup>3</sup> /時、45 kW	2台	
ケーキ搬出ホッパ	鋼板製カットゲート開閉式両開きホッパ 12.5 m <sup>3</sup>	1基	
脱臭設備	水洗浄塔	角型充てん式 230 m <sup>3</sup> /分	1基
	充てん式生物脱臭塔	角型充てん式生物脱臭塔 230 m <sup>3</sup> /分	1基
	脱臭ファン	F R P製片吸込ターボファン、115 m <sup>3</sup> /分、15 kW、3.4 kPa	2台
	活性炭吸着塔	カートリッジ式角形活性炭吸着式 230 m <sup>3</sup> /分	1基
電気設備	特別高圧受変電設備	Tr 66,000 V 6,000 kVA(東部水再生プラザ側に設置)	2台
	高圧変電設備	Tr 6,600 V/420 V 1,500 kVA(濃縮・脱水系動力用)	2台
		Tr 6,600 V/420 V 750 kVA(ケーキ貯留系動力用)	1台
		Tr 6,600 V/210-105 V 200 kVA(濃縮・脱水・ケーキ貯留系照明用)	1台
		非常用発電設備	Tr 6,600 V 3Φ 2,500 kVA(東部水再生プラザ側に設置)

## ②焼却施設

- 1) 運転開始 1号汚泥焼却炉 (150 t/日) 平成19年9月  
2号汚泥焼却炉 (150 t/日) 平成21年9月
- 2) 焼却能力 300t/日
- 3) 焼却方式 循環式流動焼却方式
- 4) 設備概要

	機 器 名	仕 様	台 数
ケ ー キ 供 給 ・ 焼 却 ・ 排 ガ ス 処 理 ・ 排 水 処 理 ・ 灰 搬 出 設 備	ケーキ供給ホッパ	鋼板製角槽式下部切出多軸スクリー式、25 m <sup>3</sup> 、8.8 t/時、11 kW×2	4基
	スクリーンかすホッパ	鋼板製円筒式 3.5m <sup>3</sup>	2基
	ケーキスクリーンかす混合機	二軸スクリーパドル式 8.8t/h	2基
	ケーキ供給ポンプ	ダブルシリンダ型ピストンポンプ、6.25 t/時、37 kW	4台
	汚泥焼却炉	循環式流動焼却炉、焼却能力150 t/日	2基
	砂選別機	振動式、1.0 t/時、0.85 kW×2	2台
	砂ホッパ	鋼板製密閉型円筒下部吐出式、8m <sup>3</sup> ・0.2kW (1号炉)、10m <sup>3</sup> ・0.4kW (2号炉) 1.0 t/時	2基
	きょう雑物ホッパ	鋼板製密閉型円筒下部吐出式、2 m <sup>3</sup> 、0.75 kW	2基
	二次燃焼空気予熱器	ガスーガス熱交換式 2,200 MJ/時(1号炉) 2,370 MJ/時(2号炉)	2基
	一次燃焼空気予熱器	ガスーガス熱交換式 5,000 MJ/時(1号炉) 4,740 MJ/時(2号炉)	2基
	結露防止空気予熱器	ガスーガス熱交換式 5,300 MJ/時(1号炉) 5,196 MJ/時(2号炉)	2基
	排ガス冷却塔	立形円筒スプレー式、出口温度200℃以下、17,000 Nm <sup>3</sup> /時	2基
	排ガス除じん装置	パルス空気洗浄式バグフィルタ、0.02 g/Nm <sup>3</sup> 、19,000 Nm <sup>3</sup> /時、34 kW	2基
	排ガス処理塔	湿式洗浄冷却脱硫塔、出口温度40℃、19,000 Nm <sup>3</sup> /時	2基
	誘引ファン	プレート式、270 Nm <sup>3</sup> /分、170 kW	2基
	排水ポンプ	渦巻ポンプ、3.1 m <sup>3</sup> /分×30 m、30 kW	4台
	排水槽	SUS鋼板製、3.0 mW×3.3 mL×3.3 mH、有効容量22 m <sup>3</sup>	2槽
	洗煙排水ポンプ	渦巻ポンプ、3.1 m <sup>3</sup> /分×24 m、22 kW	3台
	洗煙排水槽	SUS鋼板製、3.3 mW×2.85 mL×6.55 mH、有効容量33 m <sup>3</sup>	1槽
灰ホッパ	鋼板製密閉式、貯留量65 m <sup>3</sup>	2基	
灰加湿装置	二軸パドル式、10 t/時、11 kW	2基	
電 気 設 備	高圧変電設備	Tr 6,600 V/420 V 1,500 kVA(焼却系動力用)	2台
		Tr 6,600 V/210-105 V 75 kVA(焼却系照明用)	1台

## 厚別洗浄センター

- 1) 運転開始 平成22年4月
- 2) 敷地面積 厚別水再生プラザ敷地内 8,516 m<sup>2</sup>  
床面積 地上2階・地下1階 RC構造 3,429.72 m<sup>2</sup>
- 3) 洗浄能力 2.0m<sup>3</sup>/時・系 3,000 m<sup>3</sup>/年
- 4) 設備概要  
処理設備

	名 称	仕 様	台 数
処 理 設 備	スクリーンかす供給機	ダブルチェーン式レーキスクリーン 2.0 m <sup>3</sup> /h	2
	スクリーンかすほぐし機	ボールミル方式 (ゴムライニング) 2.0 m <sup>3</sup> /h	2
	スクリーンかす洗浄機	機械攪拌式 2.0 m <sup>3</sup>	2
	鉄選別機	永久磁石吊下型 1.6 m <sup>3</sup> /h	2
	スクリーンかす粗破碎機	横置二軸回転式 1.6 m <sup>3</sup> /h	2
	スクリーンかす脱水機	スクリュウ式 1.6 m <sup>3</sup> /h	2
	スクリーンかす細破碎機	横置二軸回転式 1.3 m <sup>3</sup> /h	2
	アルミ選別機	磁界式 1.3 m <sup>3</sup> /h	2
	スクリーンかす搬出機	垂直バケットコンベヤ 1.3 m <sup>3</sup>	2
	スクリーンかすホッパ	切出装置付 (スクリュウ) 貯留量7.0 m <sup>3</sup>	2
	不燃物搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ 搬送能力1.0 m <sup>3</sup> /h	2
	共 通 設 備	共通不燃物排出機	垂直バケットコンベア 3.0 m <sup>3</sup> /h
不燃物ホッパ		電動カットゲート (床置) 貯留量10 m <sup>3</sup>	1
スカム除去装置		裏搔式連続自動スクリーン 目巾2.5 mm	1
スカム脱水機		二軸対向型スクリュウ式 240 L/h	1
スカム搬出機		無軸式スクリュウコンベヤ 搬送能力0.49 m <sup>3</sup> /h	2

	名 称	仕 様	台 数
そ の 他 設 備	処理水給水装置	圧力タンク式（横軸渦巻ポンプ） 3.7 m <sup>3</sup> /min×30 m タンク8.0 m <sup>3</sup>	1
	井水給水装置	圧力タンク式（横軸渦巻ポンプ） 0.6 m <sup>3</sup> /min×35 m タンク3.0 m <sup>3</sup>	1
	処理水送水ポンプ	水中渦巻きポンプ 2.3 m <sup>3</sup> /min×10 m	2
	井水送水ポンプ	水中渦巻きポンプ 0.14 m <sup>3</sup> /min×23 m	2
	排水ポンプ(200)	着脱式吸込SC水中ポンプ 4.3 m <sup>3</sup> /min×1.0m	2
	床排水ポンプ(65)	着脱式汚水汚物水中ポンプ 0.3 m <sup>3</sup> /min×10 m	3
	空気圧縮機	パッケージ空気圧縮機(165 L/min) 0.93 MPa	2
脱 臭 設 備	活性炭吸着塔	立形カートリッジ式活性炭 150 m <sup>3</sup> /min	1
	脱臭用排気ファン	搬入室・処理設備（片吸込） 75 m <sup>3</sup> /min×2.0 kPa	各1
	脱臭用給気ファン	搬入室・処理設備（片吸込） 75 m <sup>3</sup> /min×0.2 kPa	各1

## 手稲沈砂洗浄センター

- 1) 運転開始 平成4年4月  
 2) 敷地面積 5,200 m<sup>2</sup>  
 3) 洗浄能力 8 m<sup>3</sup>/時  
 4) 設備概要

	名 称	仕 様	台 数
受 入 設 備	計量器	ロードセル型ピット式トラックスケール 25 t	1
	沈砂貯留ホッパー	貯留量 30 m <sup>3</sup> 沈砂量 15 m <sup>3</sup>	2
	定量供給機	2条式スクリーコンベヤ 4 m <sup>3</sup> /時	2
	破碎機	衝撃式破碎機 4 m <sup>3</sup> /時	1
洗 砂 設 備	洗砂機	ドラム回転式 4 m <sup>3</sup> /時	1
		気水混合噴射型単一レーキ式除じん機 4 m <sup>3</sup> /時	1
	洗砂分離機	洗浄槽付きトラフコンベヤ 6 m <sup>3</sup> /時	2
	洗砂ホッパー	貯留量 10 m <sup>3</sup>	2
除 じん 設 備	スカム分離機	3面移行式除じん機幅 500 mm×目幅3 mm	1
	スカム脱水機	スクリー式 0.3 m <sup>3</sup> /時	1
	スクリーンかすホッパー	貯留量 10 m <sup>3</sup>	1

## 手稲山口埋立施設（手稲区手稲山口322番地）

- 1) 埋立期間 昭和56年3月～昭和57年1月  
 2) 敷地面積 36,510 m<sup>2</sup>（埋立面積 11,100 m<sup>2</sup>）  
 3) 埋立全容積 33,200 m<sup>3</sup>  
 4) 構造概要 底面：アスファルト舗装6 cm、提内法面：アスファルトマット10 mm、  
 提外法面：土木用シート2.0 mm  
 5) 埋立物 脱水汚泥、沈砂、スクリーンかす

## 手稲前田埋立施設（手稲区手稲前田448番地1）

- 1)埋立期間 昭和57年1月～平成12年11月  
 2)敷地面積 91,774 m<sup>2</sup>  
 3)埋立全容積 369,000 m<sup>3</sup>  
 4)構造概要 底面：アスファルト舗装（2層）6 cm、側面：遮水シート厚 1.5 mm  
 5)施設概要

	総計	内 訳			
		No. 1～4	No. 5	No. 6	No. 1～6上部
表面積 (m <sup>2</sup> )	—	36,000 (9,000×4池)	12,000	12,000	53,000
底面積 (m <sup>2</sup> )	46,200	29,200 (7,300×4池)	8,500	8,500	48,000
深 さ (m)	7.0	4.5	4.5	4.5	2.5
容 積 (m <sup>3</sup> )	369,000	150,000 (37,500×4池)	46,500	46,500	126,000
使用開始年月	—	昭和56年12月新設 昭和57年1月	昭和60年12月増設 昭和61年1月	昭和63年12月増設 平成2年7月	平成7年10月増設 平成7年11月

- 6)埋立物 脱水汚泥、沈砂、スクリーンかす、下水汚泥焼却灰、西部スラッジセンター  
 工事掘削物

## 手稲前田第2埋立施設（手稲区手稲前田623番地 他）

- 1)埋立期間 平成4年12月～  
 2)敷地面積 63,223 m<sup>2</sup>  
 3)埋立全容積 205,344 m<sup>3</sup> (No. 1～No. 6)  
 4)構造概要 底面：アスファルト舗装（2層）10 cm、側面：遮水シート 厚1.5 mm (No. 1～4)  
 全面：二重遮水シート 厚1.5 mm (No. 5、No. 6)  
 5)施設概要

	総計	内 訳					
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6
表面積 (m <sup>2</sup> )	44,994	7,513	7,513	7,513	7,513	7,471	7,471
底面積 (m <sup>2</sup> )	22,880	4,005	4,005	4,005	4,005	3,430	3,430
深 さ (m)	—	6.0	6.0	6.0	6.0	6.8	6.8
容 積 (m <sup>3</sup> )	205,344	34,271	34,271	34,271	34,271	34,130	34,130
使用開始年月	—	平成3年1月新設 平成4年12月	平成6年8月増設 平成6年8月	平成7年9月増設 平成7年12月	平成10年2月増設 平成12年9月	平成17年3月増設 平成17年5月	平成18年11月増設 令和3年8月

- 6)埋立物 脱水汚泥、沈砂、スクリーンかす、下水汚泥焼却灰